

SYMETRIC



roundabout™

ユーザマニュアル

Apache 設定リファレンス

Ver. 1.0.4

2009/05/28

目次

第 1 章	ディレクティブ一覧	5
1-1	言語変換用ディレクティブ一覧	5
1-2	画像変換用ディレクティブ一覧	6
第 2 章	言語変換用ディレクティブ	7
2-1	SetHandler	7
2-2	RALCAdjustImageScale	7
2-3	RALCAutoReload	8
2-4	RALCCacheRoot	9
2-5	RALCChargeId	9
2-6	RALCChargeLogFile	9
2-7	RALCConversionSheetFile	10
2-8	RALCDeviceGroupFile	10
2-9	RALCEngine	11
2-10	RALCGlyphConversionSheetFile	12
2-11	RALChtmlSizeOverUrl	12
2-12	RALCImage	13
2-13	RALCImageAutoScaleGif	13
2-14	RALCImageAutoScaleJpeg	14
2-15	RALCImageAutoScalePng	14
2-16	RALCImageMagickHome	15
2-17	RALCImageResizeGroup	15
2-18	RALCImageScale	16

2-19	RALCImageServer.....	17
2-20	RALCImgFileDispatch.....	18
2-21	RALCImgReserveSize.....	18
2-22	RALCLicenseFile.....	19
2-23	RALCObjectResourceSize.....	19
2-24	RALCPi.....	20
2-25	RALCRAICParamFormat.....	20
2-26	RALCRAICParamSpacer.....	21
2-27	RALCRAICParamSize.....	21
2-28	RALCRAICParamWidth.....	21
2-29	RALCReduceJpeg.....	22
2-30	RALCSourceEncoding.....	22
2-31	RALCSpacerImage.....	23
2-32	RALCTerminfoFile.....	23
2-33	RALCTerminfoHeader.....	24
2-34	RALCUnsupportFile.....	24
2-35	RALCUnsupportUrl.....	25
2-36	RALCWorkRoot.....	26
2-37	SetOutputFilter.....	26
第3章	画像変換用ディレクティブ.....	28
3-1	AddHandler.....	28
3-2	RAICCacheRoot.....	28
3-3	RAICChargeId.....	29

3-4	RAICChargeLogFile.....	29
3-5	RAICImageMagickHome.....	30
3-6	RAICLicenseFile.....	30
3-7	RAICMaxImagePixel.....	30
3-8	RAICMaxImageSize.....	31
3-9	RAICParamFomrat.....	31
3-10	RAICParamSize.....	32
3-11	RAICParamWidth.....	32
3-12	RAICParamSpacer.....	32
3-13	RAICRetryTime.....	33
3-14	RAICWorkRoot.....	33

第1章 ディレクティブ一覧

1-1 言語変換用ディレクティブ一覧

ディレクティブ名	説明
RALCAdjustImageScale	VGA 画像(480px)を QVGA 端末で 240px に変換する機能の有効・無効を設定する
RALCAutoReload	リクエスト毎に変換シートを再読込するかどうかを設定する
RALCCacheRoot	キャッシュファイル出力用のディレクトリを設定する
RALCChargeId	課金ログ ID を設定する
RALCChargeLogFile	課金ログファイルを設定する
RALCConversionSheetFile	変換シートを指定する
RALCDeiceGroupFile	端末グループ設定ファイルを設定する
RALCEngine	ラウンドアバウトの有効・無効を設定する
RALCGlyphConversionSheetFile	絵文字変換シートを指定する
RALCHtmlSizeOverUrl	表示不可エラーページを指定する
RALCImage	画像変換指示パラメータ追加の有効・無効を設定する
RALCImageAutoScaleGif	GIF 画像に対しての自動縮小機能の有効・無効を設定する
RALCImageAutoScalePng	PNG 画像に対しての自動縮小機能の有効・無効を設定する
RALCImageAutoScaleJpeg	JPEG 画像に対しての自動縮小機能の有効・無効を設定する
RALCImageMagickHome	ImageMagick ホームを設定する
RALCImageResizeGroup	画像変換後の横幅グループを設定する
RALCImageScale	画像の自動縮小率を指定する
RALCImageServer	画像サーバー使用時のローカルマッピングパスを設定する
RALCImgFileDispatch	画像自動選択機能を使用する
RALCImgReserveSize	タグで使用する外部リソースのコンテンツサイズを指定する
RALCLicenseFile	ライセンスファイルを指定する
RALCObjectResourceSize	<object>タグで使用する外部リソースのコンテンツサイズを指定する
RALCPi	表示コントロール(PI)の有効・無効を設定する
RALCRAICParamFormat	画像変換指示パラメータを設定する
RALCRAICParamSize	画像変換指示パラメータを設定する
RALCRAICParamSpacer	画像変換指示パラメータを設定する
RALCRAICParamWidth	画像変換指示パラメータを設定する

ディレクティブ名	説明
RALCReduceJpeg	全ての JPEG の品質をデフォルトで一定値まで下げる設定をする
RALCSourceEncoding	入力キャラクタエンコーディングを設定する
RALCSpacerImage	スペーサー画像表示機能の有効・無効を設定する
RALCTerminfoFile	端末情報ファイルを指定する
RALCTerminfoHeader	リクエストヘッダに追加する端末情報の項目を設定する
RALCUnsupportFile	非対応端末設定ファイルを指定する
RALCUnsupportUrl	非対応端末からのアクセス時のリダイレクト先を指定する
RALCWorkRoot	一時ファイル出力用のディレクトリを設定する
SetEnvIf	mod_setenvif の SetEnvIf を利用した端末グルーピング
SetHandler	端末情報ファイルの再読込用のハンドラを設定する

1-2 画像変換用ディレクティブ一覧

ディレクティブ名	説明
RAICCacheRoot	画像キャッシュファイル出力用のディレクトリを指定する
RAICChargeId	課金ログ ID を設定する
RAICChargeLogFile	課金ログファイルを設定する
RAICImageMagickHome	ImageMagick ホームを設定する
RAICLicenseFile	ライセンスファイルを指定する
RAICMaxImagePixel	画像変換対象となる画像の縦横ピクセル数の上限を設定する
RAICMaxImageSize	画像変換対象となる画像ファイルの最大サイズを設定する
RAICParamFormat	画像変換指示パラメータを設定する
RAICParamSize	画像変換指示パラメータを設定する
RAICParamSpacer	画像変換指示パラメータを設定する
RAICParamWidth	画像変換指示パラメータを設定する
RAICRetryTime	一定時間内に画像変換が完了しなかった時にリトライするまでの時間を設定する
RAICWorkRoot	一時ファイル出力用のディレクトリを設定する

第2章 言語変換用ディレクティブ

2-1 SetHandler

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / IU 版 / Lite 版 / 開発テスト版
利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	オプション
書式	SetHandler ralc-terminfo-reload
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト ディレクトリ .htaccess
説明	<p>端末情報ファイルを更新した際に、内容をラウンドアバウトに反映させるためのハンドラを設定します。設定する際は、Location*Allow*Deny ディレクティブと組み合わせて設定します。</p> <p>SetHandler ディレクティブは、Apache core に含まれています。</p>
デフォルト値	ralc-terminfo-reload
設定例	<pre><VirtualHost *:80> ServerName example.jp <Location "/terminfo/reload"> SetHandler ralc-terminfo-reload Order Deny, Allow Deny from all Allow from 127.0.0.1 </Location> </VirtualHost></pre>

2-2 RALCAdjustImageScale

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / IU 版 / 開発テスト版
利用可能バージョン	1.0.2 以降

必須 / オプション	オプション
書式	RALCAdjustImageScale <On / Off>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト ディレクトリ
説明	<p>画像のオートレイアウト機能を使用している場合、QVGA 端末およびVGA 端末末端に対しては、QVGA/VGA 画像がブラウザ幅一杯まで表示されるように画像変換を行います。具体的には、対象画像がVGA サイズ(480px)の場合、ブラウザ幅が222~240pxの端末からアクセスすると画像幅が240pxとなるように変換を行い、ブラウザ幅が420~280pxの端末からアクセスすると画像幅が480pxとなるように変換を行います。また対象画像がQVGA サイズ(240px)の場合、ブラウザ幅が222~240pxの端末からアクセスすると画像幅が240pxとなるように変換を行います。</p> <p>この設定をOffにした場合は、RALCImageScaleで設定した画像縮小率に従って変換を行います。</p> <p>※<Directory>ディレクティブには対応していません。</p>
デフォルト値	On
設定例	<pre><Location /> RALCAdjustImageScale Off </Location></pre>

2-3 RALCAutoReload

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / Pro-EX 版 / Pro 版 / Lite 版 / 開発テスト版
利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RALCAutoReload <On / Off>
コンテキスト	サーバー設定
説明	<p>リクエスト毎に変換シート・絵文字変換シート・ユーザー端末グループ設定ファイルを読み直すかどうかを設定します。この値がOnの時は、リクエスト毎に変換シート・絵文字変換シート・ユーザー端末グループ設定ファイルを読み込みます。Offの時は、起動時に1度だけ読み込み、次回再起動まで、変更は反映されません。</p>
デフォルト値	/var/roundabout/cache

設定例 RALCCacheRoot /var/roundabout/cache

2-4 RALCCacheRoot

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / IU 版 / Lite 版 / 開発テスト版
利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	必須
書式	RALCCacheRoot <ディレクトリパス>
コンテキスト	サーバー設定
説明	画像ファイルの情報などを保持するために使用します。Apache の停止時には、ここで指定したディレクトリ以下に memcache.dat というファイルが出力されます。
デフォルト値	/var/roundabout/cache
設定例	RALCCacheRoot /var/roundabout/cache

2-5 RALCChargeId

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / IU 版 / Lite 版 / 開発テスト版
利用可能バージョン	1.0.3 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RALCChargeId <課金 ID>
コンテキスト	サーバー設定
説明	課金ログファイルに出力する課金 ID を設定します。課金 ID に使用可能な文字は、半角英数字および「-」「_」です。
デフォルト値	なし
設定例	RALCChargeId server01

2-6 RALCChargeLogFile

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / IU 版 / Lite 版 / 開発テスト版
利用可能バージョン	1.0.3 以降
必須 / オプション	オプション (ただしライセンスによっては必須)

書式	RALCChargeLogFile <ファイルパス>
コンテキスト	サーバー設定
説明	課金ログファイルのパスを指定します。このディレクティブを指定すると課金ログの出力が有効となります。ファイルパスに相対パスを指定した場合、サーバールートからの相対パスとみなされます。
デフォルト値	なし
設定例	RALCChageLogFile /var/roundabout/logs/charge.log

2-7 RALCConversionSheetFile

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / Lite 版 / 開発テスト版
利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RALCConversionSheetFile <ファイルパス>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト ディレクトリ
説明	変換シート CSV のファイルパスを指定します。変換シートは複数指定できます。複数の変換シートで同一のキーワードが指定されている場合は、後に指定された変換シートで記述されたルールが優先されます。また、<Location>ディレクティブと組み合わせることで、URL 毎に変換シートが指定可能です。URL が複数の<Location>ディレクティブに該当する場合は、先に指定された<Location>ディレクティブ内の設定が優先されます。ファイルパスに相対パスを指定した場合、サーバールートからの相対パスとみなされます。 ※<Directory>ディレクティブには対応していません。
デフォルト値	/var/roundabout/conf/conversion.csv
設定例	<Location /foo/> RALCConversionSheetFile /var/roundabout/conf/conversion.csv RALCGlyphConversionSheetFile /var/roundabout/conf/glyph-conversion.csv </Location>

2-8 RALCDeviceGroupFile

関連モジュール	mod_ralc
---------	----------

利用可能ライセンス	WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / 開発テスト版
利用可能バージョン	1.0.3 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RALCDeviceGroupFile <ファイルパス>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト ディレクトリ
説明	端末グループ設定ファイルのパスを指定します。ファイルパスに相対パスを指定した場合、サーバールートからの相対パスとみなされます。URL が複数の <Location>ディレクティブに該当する場合は、最後にマッチした<Location>ディレクティブ内の設定が優先されます。
デフォルト値	/var/roundabout/conf/device-group.conf
設定例	<Location /foo/> RALCDeviceGroupFile /var/roundabout/conf/device-group.conf </Location>

2-9 RALCEngine

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / IU 版 / Lite 版 / 開発テスト版
利用可能バージョン	1.0.2 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RALCEngine <On / Off>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト ディレクトリ
説明	ラウンドアバウトの有効・無効を設定します。動作としては SetOutputFilter が全く設定されていない場合と同じ動作になります。mod_ralc が有効なロケーション内で、一部のパスに関して言語変換機能を Off にしたい場合に使用します。 ※<Directory>ディレクティブには対応していません。
デフォルト値	On
設定例	/m/以下でラウンドアバウトを有効にするが、/m/foo/では無効化したい場合 <Location /m/>

```

    SetOutputFilter RALC
</Location>
<Location /m/foo/>
    RALCEngine Off
</Location>

```

2-10 RALCGlyphConversionSheetFile

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / Lite 版 / 開発テスト版
利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RALCGlyphConversionSheetFile <ファイルパス>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト ディレクトリ
説明	絵文字変換シートCSVのファイルパスを指定します。<Location>ディレクティブと組み合わせることで、URL毎に変換シートが指定可能です。URLが複数の<Location>ディレクティブに該当する場合は、先に指定された<Location>ディレクティブ内の設定が優先されます。ファイルパスに相対パスを指定した場合、サーバールートからの相対パスとみなされます。 ※<Directory>ディレクティブには対応していません。
デフォルト値	/var/roundabout/conf/glyph-conversion.csv
設定例	<Location /foo/> RALCGlyphConversionSheetFile /var/roundabout/conf/glyph-conversion.csv </Location>

2-11 RALCHtmlSizeOverUrl

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / IU 版 / Lite 版 / 開発テスト版
利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RALCHtmlSizeOverUrl <絶対 URL>

コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト ディレクトリ
説明	HTML/XHTML コンテンツを変換後、コンテンツサイズがブラウザキャッシュサイズを上回った際にリダイレクトする URL を指定します。URL は絶対 URL で指定します。 ※<Directory>ディレクティブには対応していません。
デフォルト値	#コメントアウトされています
設定例	RALCHtmlSizeOverUrl http://example.jp/size_over.html

2-12 RALCImage

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / IU 版 / Lite 版 / 開発テスト版
利用可能バージョン	1.0.2 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RALCImage <On / Off>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト ディレクトリ
説明	HTML 内の画像に対し、画像変換を使用するかどうかを指定します。Off に設定した場合、img タグに対する変換処理は行われず、ra:width 属性なども削除されません。 ※<Directory>ディレクティブには対応していません。
デフォルト値	On
設定例	<Location /m/> RALCImage Off </Location>

2-13 RALCImageAutoScaleGif

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / IU 版 / 開発テスト版
利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	オプション

書式	RALCImageAutoScaleGif <On / Off>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト ディレクトリ
説明	全ての GIF 画像に対して、縮小変換を行うかどうかを指定します。縮小時の比率は、RALCImageScale ディレクティブで設定します。この設定値が Off の場合でも、タグに ra:width="on" と指定すれば、そのタグの画像だけは、RALCImageScale ディレクティブの設定に従って縮小されません。
デフォルト値	On
設定例	RALCImageAutoScaleGif On

2-14 RALCImageAutoScaleJpeg

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / IU 版 / 開発テスト版
利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RALCImageAutoScaleJpeg <On / Off>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト ディレクトリ
説明	全ての JPEG 画像に対して、縮小変換を行うかどうかを指定します。縮小時の比率は、RALCImageScale ディレクティブで設定します。この設定値が Off の場合でも、タグに ra:width="on" と指定すれば、そのタグの画像だけは、RALCImageScale ディレクティブの設定に従って縮小されます。
デフォルト値	On
設定例	RALCImageAutoScaleJpeg On

2-15 RALCImageAutoScalePng

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / IU 版 / 開発テスト版

利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RALCImageAutoScalePng <On / Off>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト ディレクトリ
説明	全ての Png 画像に対して、縮小変換を行うかどうかを指定します。縮小時の比率は、RALCImageScale ディレクティブで設定します。この設定値が Off の場合でも、タグに ra:width="on" と指定すれば、そのタグの画像だけは、RALCImageScale ディレクティブの設定に従って縮小されません。
デフォルト値	On
設定例	RALCImageAutoScalePng On

2-16 RALCImageMagickHome

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / IU 版 / Lite 版 / 開発テスト版
利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	必須
書式	RALCImageMagickHome <ディレクトリパス>
コンテキスト	サーバー設定
説明	ImageMagick のホームディレクトリ(インストールディレクトリ)を指定します。ファイルパスに相対パスを指定した場合、サーバールートからの相対パスとみなされます。この設定は、サーバーレベルで 1 度だけ設定します。
デフォルト値	/usr
設定例	RALCImageMagickHome /usr

2-17 RALCImageResizeGroup

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / IU 版 / 開発テスト版
利用可能バージョン	1.0.0 以降

必須 / オプション	オプション
書式	RALCImageResizeGroup <ブラウザ横幅の開始>-<ブラウザ横幅の終了> ><画像変換後の横幅>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト ディレクトリ
説明	ブラウザ横幅を超える画像を変換する際の画像変換後の横幅ピクセル数を指定します。この設定は、アクセスした端末のブラウザ横幅ごとに設定できます。 ※<Directory>ディレクティブには対応していません。
デフォルト値	なし
設定例	RALCImageResizeGroup 1-119 96 RALCImageResizeGroup 120-200 120 RALCImageResizeGroup 201-221 200 RALCImageResizeGroup 222-319 240 RALCImageResizeGroup 320-419 320 RALCImageResizeGroup 420-640 480 RALCImageResizeGroup 641-999 640

2-18 RALCImageScale

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / IU 版 / 開発テスト版
利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RALCImageScale <ブラウザ横幅の開始>-<ブラウザ横幅の終了> <画像変換後の横幅>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト ディレクトリ
説明	RALCImageAutoScaleJpeg、RALCImageAutoScaleGif、RRALCImageAutoScalePng が有効の時、又は img タグで ra:width="on" 属性が指定された場合の縮小スケールを設定します。等倍率の場合は 1 を指定します。1 より小さい値を指定した場合は、画像が縮小されません。1 より大きい値を指定した場合、img タグの width 属性と height 属性

による画像の引き延ばしが行われます。

※<Directory>ディレクティブには対応していません。

デフォルト値	なし
設定例	RALCImageScale 1-95 0.200
	RALCImageScale 96-119 0.200
	RALCImageScale 120-224 0.250
	RALCImageScale 225-227 0.469
	RALCImageScale 228-229 0.475
	RALCImageScale 230-231 0.480
	RALCImageScale 232-233 0.484
	RALCImageScale 234-239 0.488
	RALCImageScale 240-319 0.500
	RALCImageScale 320-467 0.667
	RALCImageScale 468-479 0.975
	RALCImageScale 480-999 1.000

2-19 RALCImageServer

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / IU 版 / 開発テスト版
利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RALCImageServer <ホスト名> <ディレクトリパス>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト ディレクトリ .htaccess
説明	画像サーバーのドキュメントルートを設定します。この設定は、画像サーバーが NAS などでマウントされている場合にのみ、使用できます。ドメイン名は画像を参照する URL を指定します。ドキュメントルートに相対パスを指定した場合、サーバールートからの相対パスとみなされます。 ※<Directory>ディレクティブには対応していません。
デフォルト値	-
設定例	RALCImageServer img1.example.jp /mnt/img1/htdocs

2-20 RALCImgFileDispatch

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / IU 版 / Lite 版 / 開発テスト版
利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RALCImgFileDispatch <ブラウザ横幅の開始>-<ブラウザ横幅の終了><ファイル名の末尾>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト ディレクトリ
説明	img タグで指定された画像をブラウザ横幅ごとに切り替えを行います。ファイル名の末尾には、拡張子を除いたファイル名のうち、末尾部分を指定します。切り替えの対象は、img タグの src 属性でファイル名の末尾がいずれかの RALCImgFileDispatch にマッチする img タグです。 ※<Directory>ディレクティブには対応していません。
デフォルト値	1-139 _XS 140-219 _S 220-399 _M 400-799 _L 800-3000 _XL
設定例	RALCImgFileDispatch 1-219 _s RALCImgFileDispatch 220-479 _m RALCImgFileDispatch 480-999 _l

2-21 RALCImgReserveSize

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / IU 版 / 開発テスト版
利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RALCImgReserveSize <絶対 URL> <コンテンツサイズ>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト ディレクトリ

説明	画像や Flash といった外部リソースに対して予約するコンテンツサイズを指定します。この設定は画像変換対象の画像に対するコンテンツサイズ決定フェーズにして使用されます。URL は絶対 URL のプレフィックスを指定します。コンテンツサイズはバイト単位で指定します。 ※<Directory>ディレクティブには対応していません。
デフォルト値	-
設定例	RALCImgReserveSize http://adv.example.jp/xxx.cgi 5120

2-22 RALCLicenseFile

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / IU 版 / Lite 版 / 開発テスト版
利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	必須
書式	RALCLicenseFile <ファイルパス>
コンテキスト	サーバー設定
説明	言語変換モジュールのライセンスファイルパスを指定します。ファイルパスに相対パスを指定した場合、サーバールートからの相対パスとみなされます。この設定は、サーバーレベルで 1 度だけ設定します。
デフォルト値	/var/roundabout/conf/roundabout.lic
設定例	RALCLicenseFile /var/roundabout/conf/roundabout.lic

2-23 RALCObjectResourceSize

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / IU 版 / 開発テスト版
利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RALCObjectResourceSize <絶対 URL> <コンテンツサイズ>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト ディレクトリ
説明	画像や Flash といった外部リソースに対して予約するコンテンツサイズを指定します。この設定は画像変換対象の画像に対するコンテンツサイズ決定フェーズにして使用されます。URL は絶対 URL のプレフィックスを

指定します。コンテンツサイズはバイト単位で指定します。

※<Directory>ディレクティブには対応していません。

デフォルト値

-

設定例

RALCObjectReserveSize http://adv.example.jp/xxx.swf 10240

2-24 RALCPi

関連モジュール

mod_ralc

利用可能ライセンス

WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / 開発テスト版

利用可能バージョン

1.0.2 以降

必須 / オプション

オプション

書式

RALCPi <On / Off>

コンテキスト

サーバー設定

バーチャルホスト

ディレクトリ

説明

表示コントロール(PI)の有効・無効を設定します。

なお、表示コントロールを無効にした場合でも、画像切り替え機能は無効となりません。

※<Directory>ディレクティブには対応していません。

デフォルト値

On

設定例

<Location /m/>

RALCPi Off

</Location>

2-25 RALCRAICParamFormat

関連モジュール

mod_ralc

利用可能ライセンス

WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / IU 版 / 開発テスト版

利用可能バージョン

1.0.0 以降

必須 / オプション

オプション

書式

RALCRAICParamFormat <パラメータ名>

コンテキスト

サーバー設定

バーチャルホスト

説明

画像変換モジュール側で使用するクエリーパラメータの名前を指定します。デフォルト値を変更したい場合にのみ、設定します。

	RAICParamFormat と、同じ値にする必要があります。
デフォルト値	f
設定例	RALCRAICParamFormat f

2-26 RALCRAICParamSize

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / IU 版 / 開発テスト版
利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RALCRAICParamSize <パラメータ名>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト
説明	画像変換モジュール側で使用するクエリーパラメータの名前を指定します。デフォルト値を変更したい場合にのみ、設定します。RAICParamSize と、同じ値にする必要があります。
デフォルト値	s
設定例	RALCRAICParamSize s

2-27 RALCRAICParamSpacer

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / IU 版 / 開発テスト版
利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	必須
書式	RALCRAICParamSpacer <パラメータ名>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト
説明	画像変換モジュール側で使用するクエリーパラメータの名前を指定します。デフォルト値を変更したい場合にのみ、設定します。 RAICParamSpacer と、同じ値にする必要があります。
デフォルト値	p
設定例	RALCRAICParamSpacer p

2-28 RALCRAICParamWidth

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / IU 版 / 開発テスト版
利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RALCRAICParamWidth <パラメータ名>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト
説明	画像変換モジュール側で使用するクエリーパラメータの名前を指定します。デフォルト値を変更したい場合にのみ、設定します。 RALCParamWidth と、同じ値にする必要があります。
デフォルト値	w
設定例	RALCRAICParamWidth w

2-29 RALCReduceJpeg

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / IU 版 / 開発テスト版
利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RALCReduceJpeg <On/Off>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト ディレクトリ
説明	JPEG の画質を 75%以下に削減するかどうかを指定します。Off に設定すると、画像変換を行う必要のない JPEG は、変換せずに出力します。 ※<Directory>ディレクティブには対応していません。
デフォルト値	On
設定例	RALCReduceJpeg On

2-30 RALCSourceEncoding

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / IU 版 / Lite 版 / 開発テスト版
利用可能バージョン	1.0.3 以降
必須 / オプション	オプション

書式	RALCSourceEncoding <UTF-8/EUC-JP/Shift_JIS>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト ディレクトリ
説明	HTML コンテンツのキャラクタエンコーディングを指定します。UTF-8、EUC-JP、Shift_JIS のみ、指定できます。
デフォルト値	Shift_JIS
設定例	<Location /m/> RALCSourceEncoding UTF-8 </Location>

2-31 RALCSpacerImage

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / IU 版 / 開発テスト版
利用可能バージョン	1.0.2 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RALCSpacerImage <On / Off>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト ディレクトリ
説明	画像変換の際に画像サイズを限界まで縮小してもキャッシュサイズオーバーとなりそうな場合、スペーサー画像への変換を行うか、行わないかの設定をします。行わない場合は、画像の alt 属性が表示されます。 ※<Directory>ディレクティブには対応していません。
デフォルト値	On
設定例	<Location /m/> RALCSpacerImage Off </Location>

2-32 RALCTerminfoFile

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / IU 版 / Lite 版 / 開発テスト版
利用可能バージョン	1.0.0 以降

必須 / オプション	必須
書式	RALCTerminfoFile <ファイルパス>
コンテキスト	サーバー設定
説明	端末情報ファイルのパスを指定します。端末情報ファイルはライセンスファイルに対応したファイルのみが使用できます。ファイルパスに相対パスを指定した場合、サーバールートからの相対パスとみなされます。この設定は、サーバーレベルで1度だけ設定します。
デフォルト値	/var/roundabout/conf/terminfo.csv
設定例	RALCTerminfoFile /var/roundabout/conf/terminfo.csv

2-33 RALCTerminfoHeader

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB版 / Pro-Ex版 / Pro版 / 開発テスト版
利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	必須
書式	RALCTerminfoHeader <端末情報項目名>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト ディレクトリ
説明	リクエストヘッダに設定する端末情報ヘッダの項目を指定します。ヘッダ名は X-RA-<端末情報項目名> となります。 ※<Directory>ディレクティブには対応していません。
デフォルト値	-
設定例	RALCTerminfoHeader Carrier RALCTerminfoHeader Device-Name

2-34 RALCUnsupportFile

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB版 / Pro-Ex版 / Pro版 / IU版 / Lite版 / 開発テスト版
利用可能バージョン	1.0.2 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RALCUnsupportFile <非対応端末設定ファイルのパス>
コンテキスト	サーバー設定

	バーチャルホスト ディレクトリ
説明	非対応端末設定ファイルのパスを指定します。非対応端末ファイルは、デバイス ID を列挙したテキストファイルです。非対応端末ファイルを指定した場合は、リクエストヘッダ X-RA-Unsupport が追加され、アプリケーション側へ渡されます。非対応端末からアクセスされた場合はヘッダの値が 1 となり、対応端末の場合は値が 0 となります。RALCUnsupportUrl ディレクティブで参照される非対応端末設定ファイルは、このディレクティブで指定します。なお製品出荷時の設定では、非対応端末設定ファイルはラウンドアバウト非推奨端末のリストです。 ※<Directory>ディレクティブには対応していません。
デフォルト値	なし
設定例	<Location /> RALCUnsupportFile /var/roundabout/conf/unsupport.csv </Location>

2-35 RALCUnsupportUrl

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / IU 版 / Lite 版 / 開発テスト版
利用可能バージョン	1.0.2 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RALCUnsupportUrl <リダイレクト先 URL / None>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト ディレクトリ
説明	非対応端末からのアクセス時のリダイレクト先 URL を設定します。 RALCUnsupportUrl に None を指定した場合は、指定したコンテキスト内でリダイレクトを行わないように設定することができます。 ※<Directory>ディレクティブには対応していません。
デフォルト値	None
設定例	通常、非対応端末からのアクセス時は http://xxx/unsupport.html にリダイレクトするが、/test/以下へのリクエスト時にはリダイレクトを行わないようにする例。 <Location />

```
RALCUnsupportUrl http://xxx/unsupport.html
</Location>
<Location /test/>
  RALCUnsupportUrl None
</Location>
```

2-36 RALCWorkRoot

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / IU 版 / Lite 版 / 開発テスト版
利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	必須
書式	RALCWorkRoot <ディレクトリパス>
コンテキスト	サーバー設定
説明	実行時に使用する一時的なファイルを出力するディレクトリを設定します。このディレクトリに出力されるファイルは、Apache 起動中は削除しないでください。
デフォルト値	/var/roundabout/work
設定例	RALCWorkRoot /var/roundabout/work

2-37 SetOutputFilter

関連モジュール	mod_ralc
利用可能ライセンス	WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / IU 版 / Lite 版 / 開発テスト版
利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	必須
書式	SetOutputFilter RALC
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト ディレクトリ .htaccess
説明	RALC を有効にする<VirtualHost>ディレクティブや<Location>ディレクティブ・<LocationMatch>ディレクティブ内で指定します。SetOutputFilter ディレクティブは、Apache core に含まれています。
デフォルト値	RALC

設定例

```
<VirtualHost *:80>  
  ServerName example.jp  
  <Location /foo/>  
    SetOutputFilter RALC  
  </Location>  
</VirtualHost>
```

第3章 画像変換用ディレクティブ

3-1 AddHandler

関連モジュール	mod_raic
利用可能ライセンス	WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / IU 版 / 開発テスト版
利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	必須
書式	AddHandler raic <拡張子> <拡張子> ...
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト ディレクトリ .htaccess
説明	RAIC を有効にする VirtualHost ディレクティブや Location ディレクティブ・LocationMatch ディレクティブ内で指定します。 AddHandler ディレクティブは、Apache core に含まれています。
デフォルト値	jpg jpeg .gif .png
設定例	<VirtualHost *:80> ServerName example.jp <Location /foo/> AddHandler raic jpg jpeg .gif .png </Location> </VirtualHost>

3-2 RAICCacheRoot

関連モジュール	mod_raic
利用可能ライセンス	WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / IU 版 / 開発テスト版
利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	必須
書式	RAICCacheRoot <ディレクトリパス>
コンテキスト	サーバー設定

説明	バーチャルホスト 画像変換後の画像キャッシュファイルを保存するディレクトリのパスを指定します。サーバーレベルで設定した場合は、全ての VirtualHost で同じ設定が試用されます。VirtualHost で設定した場合は、設定した VirtualHost 内だけに適用されます。この設定が適用されていないホストに対しては、画像変換は行われません。このディレクトリには Apache 実行ユーザーが書き込み可能な権限が必要です。
デフォルト値	/var/roundabout/cache
設定例	RAICCacheRoot /var/roundabout/cache

3-3 RAICChargeId

関連モジュール	mod_raic
利用可能ライセンス	WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / IU 版 / 開発テスト版
利用可能バージョン	1.0.3 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RAICChargeId <課金 ID>
コンテキスト	サーバー設定
説明	課金ログファイルに出力する課金 ID を設定します。課金 ID に使用可能な文字は、半角英数字および「-」「_」です。
デフォルト値	なし
設定例	RAICChargeId server01

3-4 RAICChargeLogFile

関連モジュール	mod_raic
利用可能ライセンス	WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / IU 版 / 開発テスト版
利用可能バージョン	1.0.3 以降
必須 / オプション	オプション（ただしライセンスによっては必須）
書式	RAICChargeLogFile <ファイルパス>
コンテキスト	サーバー設定
説明	課金ログファイルのパスを指定します。このディレクティブを指定すると課金ログの出力が有効となります。ファイルパスに相対パスを指定した場合、サーバールートからの相対パスとみなされます。
デフォルト値	なし

設定例 RAICChageLogFile /var/roundabout/logs/charge.log

3-5 RAICImageMagickHome

関連モジュール	mod_raic
利用可能ライセンス	WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / IU 版 / 開発テスト版
利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	必須
書式	RAICImageMagickHome <ディレクトリパス>
コンテキスト	サーバー設定
説明	ImageMagick のホームディレクトリを指定します。ファイルパスに相対パスを指定した場合、サーバールートからの相対パスとみなされます。この設定は、サーバーレベルで 1 度だけ設定します。
デフォルト値	/usr
設定例	RAICImageMagickHome /usr

3-6 RAICLicenseFile

関連モジュール	mod_raic
利用可能ライセンス	WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / IU 版 / 開発テスト版
利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	必須
書式	RAICLicenseFile <ディレクトリパス>
コンテキスト	サーバー設定
説明	画像変換モジュールのライセンスファイルパスを指定します。ファイルパスに相対パスを指定した場合、サーバールートからの相対パスとみなされます。この設定は、サーバーレベルで 1 度だけ設定します。
デフォルト値	/var/roundabout/conf/roundabout.lic
設定例	RAICLicenseFile /var/roundabout/conf/roundabout.lic

3-7 RAICMaxImagePixel

関連モジュール	mod_raic
利用可能ライセンス	WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / IU 版 / 開発テスト版
利用可能バージョン	1.0.3 以降

必須 / オプション	オプション
書式	RAICMaxImagePixel <ピクセル数>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト
説明	画像変換対象となる画像の縦・横ピクセル数の最大値を指定します。
デフォルト値	1280
設定例	RAICMaxImagePixel 1280

3-8 RAICMaxImageSize

関連モジュール	mod_raic
利用可能ライセンス	WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / IU 版 / 開発テスト版
利用可能バージョン	1.0.3 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RAICMaxImageSize <サイズ>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト
説明	画像変換対象となる画像ファイルの最大サイズをバイト数単位で指定します。
デフォルト値	204800
設定例	RAICMaxImageSize 204800

3-9 RAICParamFomrat

関連モジュール	mod_raic
利用可能ライセンス	WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / IU 版 / 開発テスト版
利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	必須
書式	RAICParamFormat <パラメータ名>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト
説明	画像変換モジュール側で使用するクエリーパラメータの名前を指定します。デフォルト値を変更したい場合にのみ、設定します。 RALCRAICParamFormat と同じ値にする必要があります。
デフォルト値	f

設定例 RAICParamFormat f

3-10 RAICParamSize

関連モジュール	mod_raic
利用可能ライセンス	WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / IU 版 / 開発テスト版
利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	必須
書式	RAICParamSize <パラメータ名>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト
説明	画像変換モジュール側で使用するクエリーパラメータの名前を指定します。デフォルト値を変更したい場合にのみ、設定します。 RALCRAICParamSize と同じ値にする必要があります。
デフォルト値	s
設定例	RAICParamSize s

3-11 RAICParamSpacer

関連モジュール	mod_raic
利用可能ライセンス	WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / IU 版 / 開発テスト版
利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	必須
書式	RAICParamSpacer <パラメータ名>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト
説明	画像変換モジュール側で使用するクエリーパラメータの名前を指定します。デフォルト値を変更したい場合にのみ、設定します。 RALCRAICParamSpacer と同じ値にする必要があります。
デフォルト値	p
設定例	RAICParamSpacer p

3-12 RAICParamWidth

関連モジュール mod_raic

利用可能ライセンス	WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / IU 版 / 開発テスト版
利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	必須
書式	RAICParamWidth <パラメータ名>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト
説明	画像変換モジュール側で使用するクエリーパラメータの名前を指定します。デフォルト値を変更したい場合にのみ、設定します。 RALCRAICParamWidth と同じ値にする必要があります。
デフォルト値	w
設定例	RAICParamWidth w

3-13 RAICRetryTime

関連モジュール	mod_raic
利用可能ライセンス	WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / IU 版 / 開発テスト版
利用可能バージョン	1.0.3 以降
必須 / オプション	オプション
書式	RAICRetryTime <秒数>
コンテキスト	サーバー設定 バーチャルホスト
説明	一定時間内に画像変換が完了しなかった場合にリトライするまでの時間を秒数で指定します。この設定は、
デフォルト値	60
設定例	RAICRetryTime 60

3-14 RAICWorkRoot

関連モジュール	mod_raic
利用可能ライセンス	WEB 版 / Pro-Ex 版 / Pro 版 / IU 版 / 開発テスト版
利用可能バージョン	1.0.0 以降
必須 / オプション	必須
書式	RAICWorkRoot <ディレクトリパス>
コンテキスト	サーバー設定
説明	実行時に使用する一時的なファイルを出力するディレクトリを設定しま

す。このディレクトリに出力されるファイルは、Apache 起動中は削除しないでください。

デフォルト値

`/var/roundabout/cache`

設定例

`RAICWorkRoot /var/roundabout/cache`